

産業廃棄物処理計画書

2023 年 6 月 30 日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 大阪府大阪市浪速区湊町1-4-38 近鉄新難波ビル

氏 名 大日本土木株式会社西日本支社
執行役員支社長 小椋 克泰

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6632-7099

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大日本土木株式会社大阪支店
事業場の所在地	大阪府大阪市浪速区湊町1-4-38 近鉄新難波ビル
計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	06総合工事業
② 事業の規模	完工高 207 億円 (西日本支社管内)
③ 従業員数	243名 (西日本支社管内)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】 別紙集計用シートのとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・材料の工場加工等により廃材発生削減、搬入資機材・梱包材の減容化・減量化を図った。 ・作業所が定めた減量化方法を周知させ、また、具体的な実施内容や注意事項を朝礼広場、工事関係者の集合場所に掲示した		
②計画	【目標】 別紙集計用シートのとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ” ①現状” で実施した項目をさらに推し進める		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・金属くず、段ボール、木くず等、再生利用可能なものについては、取引業者・搬出先の有無を調査の上、有価物と廃棄物に分別して排出を行った
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ” ①現状” で実施した項目をさらに推し進める

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
（これまでに実施した取組） 実施していない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組） 実施予定なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】 別紙集計用シートのとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） <ul style="list-style-type: none"> ・電子マニフェスト化を進め、煩雑な事務処理作業を低減した ・産業廃棄物収集運搬業者・処理業者に対して、JWNET・ereverseへの加入を奨励した ・作業所に対して、業者選定の際には優良認定処理業者と優先的に委託契約を結ぶように推奨した 		

		【目標】 別紙集計用シートのとおり	
②計画	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
”①現状”で実施した項目をさらに推し進める			
※事務処理欄			

別紙3(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(令和4年度)実績量

計画：今年度(令和5年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②)+ (⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③)+ (⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
221 建設汚泥	3060.000	15000									3060	15000	1900.000	10000	3060	15000				
600 廃プラスチック	154.630	750									154.63	750	49.805	250	92.778	450				
710 紙くず	30.240	150									30.24	150	0.000	30	30.24	150				
810 木くず	224.730	1000									224.73	1000	4.950	30	224.73	1000				
1200 金属くず	11.300	50									11.3	50	5.650	30	11.3	50				
1300 ガラ陶	10.000	50									10	50	6.000	30	10	50				
1322 石膏ボード	35.190	175									35.19	175	18.540	100	0	0				
1500 がれき類	43.700	200									43.7	200	0.000	10	43.7	200				
1501 コンガラ	3913.186	15000									3913.186	15000	171.976	1000	3913.186	15000				
1502 アスガラ	593.890	3000									593.89	3000	6.660	500	593.89	3000				
2010 安定型湿廃	7.540	40									7.54	40	0.000	5	0	0				
2020 管理型湿廃	27.300	150									27.3	150	2.080	20	0	0				
2440 石綿含有がれき	28.120	100									28.12	100	28.120	28.12	0	0				
合計	8139.826	35665	0	0	0	0	0	0	0	0	8139.826	35665	2193.781	12033.12	7979.824	34900	0	0	0	0